

「令和7年度 国立大学附属学校振興議員連盟 総会」報告書

副会長 兼 専務理事 羌 叡應

開催日程 令和7年11月6日(木) 15:00～16:00
開催場所 衆議院第一議員会館 地下1階第5会議室(東京都千代田区永田町2丁目2-1)
参加者 国立大学附属学校振興議員連盟 会長 森 英介 氏、 事務局長 大野 敬太郎 氏
衆議院議員 西村 康稔 氏(自民) 阿部 知子 氏(立憲) 源馬 謙太郎 氏(立憲)
金子 恵美 氏(立憲) 西岡 秀子 氏(国民) 福島 伸享 氏(有志)
代理出席) 石破 茂 氏(自民) 船田 元 氏(自民) 齋藤 健 氏(自民)
石橋 林太郎 氏(自民)
文部科学省 高等教育局長 合田 哲雄 氏
高等教育局主任大学改革官 小谷 和浩 氏
大臣官房文教施設企画・防災部計画課長 廣田 貢 氏
高等教育局国立大学法人支援課長 村尾 崇 氏
高等教育局専門教育課教員養成企画室長 若林 徹 氏
国立大学附属学校全国同窓会 会長 塩谷 立 氏
全国国立大学附属学校連盟 副理事長 下永田 修二 氏
全附連事務局長 彦坂 秀樹 氏
国立大学法人茨城大学教育学部副学部・附属学校園 統括 毛利 靖 氏
茨城大学教育学部附属幼稚園 園長 斎須 久依 氏
国立大学法人東京学芸大学 教育インキュベーションセンター長 金子 喜宏 氏
東京学芸大学附属竹早小学校 副校長・附属幼稚園竹早園舎 副園長 佐藤 洋平 氏
全附P連 会長 宮本 昌尚、副会長兼専務理事 羌 叡應、専門委員 呉本 啓郎
他5名(文部科学省・国立大学附属学校関係者) (計30名)

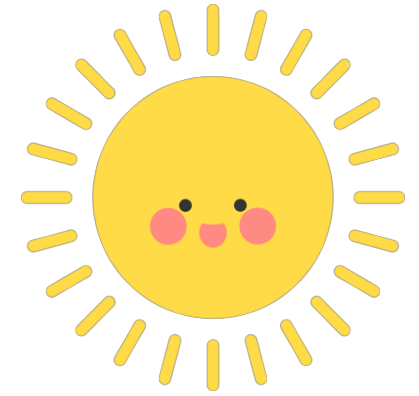


【次第】

1. 開会宣言
2. ご挨拶 森 英介 氏 塩谷 立 氏 大野 敬太郎 氏 下永田 修二 氏
3. 事例発表「附属学校の取り組みについて」
1) 茨城大学教育学部附属幼稚園の取り組みについて 毛利 靖 氏 斎須 久依 氏
2) 東京学芸大学附属竹早小学校の取り組みについて 金子 喜宏 氏 佐藤 洋平 氏
4. 行政説明「附属学校を取り巻く現状について」 若林 徹 氏
5. 現況説明「昨今の附属学校統廃合の動きについて」 羌 叡應
6. 質疑応答・意見交換 大野 敬太郎 氏
7. 所感 合田 哲雄 氏
8. ご挨拶(謝辞) 宮本 昌尚
9. 今後の活動予定および閉会宣言 大野 敬太郎 氏

【所感】

「国立大学附属学校振興議員連盟総会」に参加し、昨今の附属学校統廃合の動きについて現況説明を行った。また、附属学校のグッドプラクティスである2事例の発表が関係者によりなされ、国会議員や文部科学省幹部の皆様と附属学校の意義や魅力、公益性や公共性、そして取り巻く厳しい社会情勢を改めて共有することができた。附属学校の統廃合に関わる活発な意見交換がなされ、その効果検証を求める意見があるなど、附属学校に求められる社会性について理解を深めることができただけでなく、今後の附属学校のあり方を考える貴重な機会となった。



茨城大学附属幼稚園



茨城大学附属幼稚園概要

いばら き だい がく きょう いく がく ぶ ふ ぞく よう ち えん
茨城大学教育学部附属幼稚園 ようちえんまっぷ



茨城大学附属幼稚園概要

<園児数>

		男子	女子	合計
年少	りす	5	10	15
年中	うさぎ	10	21	31
年長	きりん	10	6	16
	ぺんぎん	9	7	16
合計		34	44	78

<教育実習生総受け入れ員数>

約500名

(教育学部学生、大学生、大学院生、教職大学院生、
特別専攻科、インターンシップ、ほか他園からの研修含む)

附属幼小中特支共通の教育カリキュラム グランドデザイン



令和7年度 茨城大学教育学部附属幼稚園 グランドデザイン



<茨城大学スチューデントサクセス>
なりたい自分になる

<附属学校園で求める子どもの姿>
・GDi*2の視点をもって世界的な視野から社会に生きる全ての人々の幸福を実現するために行動できる人

求められる附属へ

中：自主・自律・協調

小：個の確立とはらからの精神の両立

幼：豊かな人間理解・社会性の芽生え
・基本的な生活習慣・自主性・創造性
・望ましい人格の形成

<R7の組織目標>
・なれる最高の附属幼稚園
・安心と信頼で豊かな保育を支える

【ディプロマポリシー】（修園時）
自身でやり遂げた自信と他者への思いやりをもち、協同的、探究的な活動を展開する幼児

【カリキュラムポリシー】（園生活）
周囲の自然や物・人に心を動かし豊かな体験を重ね、自分で考え判断し行動しようとする幼児 ※学びの芽生え

【アドミッションポリシー】（入園時）
自分の気持ちを表現しながら、興味・関心をもって遊びを楽しむ幼児

Mission② <発信と子育て支援>

- 研究内容の発信
 - ・日本連合教育会全国研究大会茨城大会（8月22日）
 - ・公開研究会（10月29日）
 - ・関関連茨城大会（10月31日）
- 保育や遊びの発信と子育て支援
 - ・ホームページ、保育写真を玄関掲示
 - ・未就園児との交流「なかよしひろば」実施
 - ・「水戸黄門漫遊マラソン」特設ステージ出演

Mission④ <運営の重点はつながる>

- 日常の遊びの充実 **教職員がつながる**
 - ・朝ミーティングや保育の振り返りの充実
 - ・園児の共通理解と他園との交流
- 保護者への周知の充実 **保護者がつながる**
 - ・保護者の参加型行事の推進と「ムウくんカフェ」
- 近隣の学校や施設等との連携の充実 **外部がつながる**
 - ・水戸二中や県立水戸第三高等学校との連携
 - ・ミュージアムパーク茨城県自然博物館等の行政機関との連携

Mission① <研究>

- 研究テーマ「遊びを通して『科学する心』を育む」
- 日常の遊びの充実
 - ・毎日の保育記録・週案・情報共有・保護者との連携
 - ・保育・行事内容の見直し
 - ・全附属幼稚園教育研究会近畿地区・奈良大会への全員参加、他の附属園視察研修
 - ・全職員参加の日常的なミニ研修を実施し、教師の意識・保育の質の向上

Mission③ <養成>

- 学生・院生の実習の充実
 - ・教育実習
 - ・授業毎（保健体育、音楽、養護実習等）のテーマに沿った保育協力
- 教員研修の拠点校
 - ・県教委との連携「幼児教育担当指導主事等連絡協議会」、初任者研修講座への協力
 - ・リカレント教育や視察の積極的な受け入れ

茨城大学教育学部

保護者・後援会

Green
Digital

GDi*2
イバダイ・ビジョン 2030

Global
Diversity

安全・安心

カリキュラム開発センター

地域・社会との連携

R7年度 研究テーマ

遊びを通して『科学する心』を育む

「科学する心」を育むために

- ① 自然や動植物に親しみ、不思議さに出会い、
感じる心を育む機会をつくる。
- ② 遊びの中で「なんでだろう」「もっと知りたい」
という思いに共感し、遊びを支える。
- ③ もの・こと・ひと・社会とのつながりから遊びを
展開し、試行錯誤できる環境を整える。



3歳児クラス

「カマキリとの関わり」から科学する心を育む

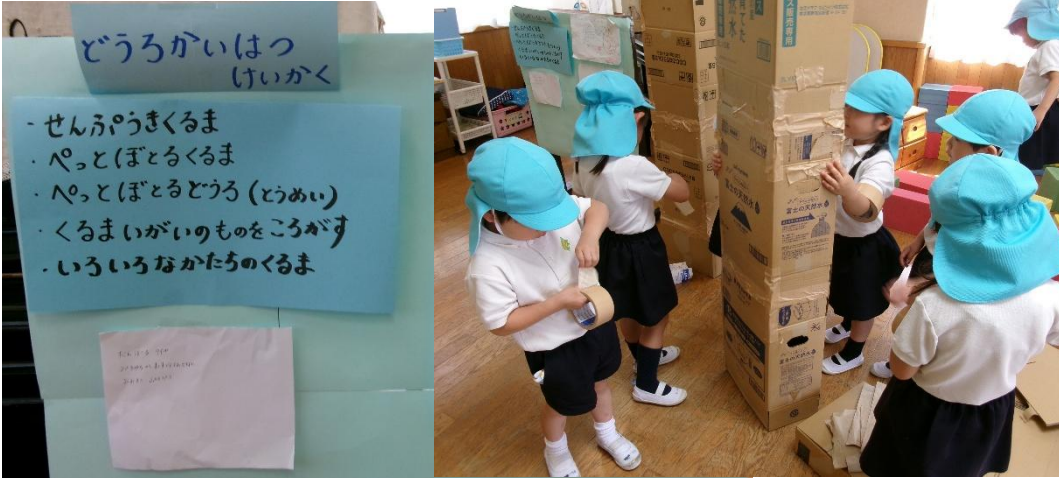


「くるま遊び」から科学する心を育む



4歳児クラス

「空から走る道路」から科学する心を育む



「公園にあるようなシーソー作り」から科学する心を育む



5歳児クラス

「ロケット飛ばし」から科学する心を育む



「色水作り」から科学する心を育む



地域の幼稚園・保育園の支援

茨城県保育協議会・茨城県民間保育協議会(0歳児～就学前の幼児)

茨城県内の幼稚園長・子ども園長を対象とした研修会

茨城県内の民間を含む幼児施設の新規採用管理職及び教員研修講師

市町村立幼稚園の発達障害に係る幼児への園内研修講師、対象児保護者への関わり

幼児教育に関わる市町村指導主事研修講師(保育参観を含む開催場所提供)

茨城県自然博物館へ展示の在り方等に関する助言

茨城県外部検討委員としての助言

茨城県教育研究連盟研究集会助言者

つくば市管理職研修講師 等

保育参観や園内研修へのご参加を
随時受け付けております。

附属小・附属中へとつながる探究学習



GD12 「イバダイ・ビジョン2030」

茨城大学「イバダイ・ビジョン2030」を、大学だけでなく、附属学校園（幼・小・中・特支）においても実践研究開始。
グリーン・デジタル・グローバル・ダイバーシティを合言葉に、児童生徒一人一人が、問題発見解決学習として探究する、子どもたちの創造性と未来を拓く実践研究をおこなう。



KIDS
DESIGN
AWARD
2025

茨城大学教育学部
附属学校園の取組が
キッズデザイン賞を
受賞しました。



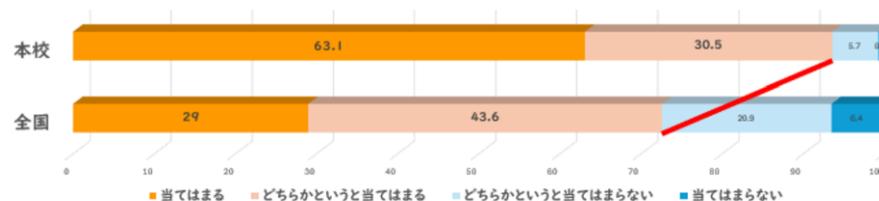
附属幼稚園（ダイナミックな工作）



附属小（大人を超える探究で学長表彰） 附属中（世界へ羽ばたく探究）

【全国学力学習状況調査(R5)生徒質問紙から】

●総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか



「総合的な学習の時間で問題発見解決学習に取り組んでいるか」では、93.6%が回答した。さらに、「スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていたか」では97.2%が回答し、全国の78.7%を大きく上回っている。



一人一人の探究的な学びを
茨城大学の太田学長が称える



未来の学校
みんなで創ろう。
PROJECT

○教科分断

領域に分断された教科教育研究の体制では、個別最適な学びや教育DX等、総合的で現代的な教育課題に対応する研究の推進が十分に行えない。

○理論と実践の分断

中央教育審議会や大学における理論的で概念的な議論や研究の成果が、各学校現場での実践と十分につながっていない。

○現場の課題感と企業のソリューションの捻じれ

企業は大学や中央教育審議会の標準化された理論や政策にそったソリューションを開発するため、個別の現場の課題に対応できていない。

○データの分散

全国的なビッグデータの分析のみが行われ、教育現場で生成されている個別のデータの活用、分析が進んでいない。

「未来の学校 みんなで創ろうPROJECT」は10年後の学校を3年後に実装することを目標に、東京学芸大学附属竹早学校区を中心に展開されている東京学芸大学教育インキュベーションセンターのプロジェクトです。

研究者と普及者と実践者を一つの共創チームに

○研究、普及、実践を乖離させずに、一つのチームをつくって、実践的に研究開発を進める。

○参加に関して金銭発生させず、参加してもらう(人的ソリューションの提供)こと優先する。

○附属学校で開発したソリューションを公立学校に普及する
というやり方ではなく、公立学校と同時多発的に実践研究を行う。

➡ 常に、公立学校での展開を意識する。

○大企業・中小企業・スタートアップ・非営利等、多様な40以上の法人が参加

○岩手県山田町教育委員会・岡山県津山市教育委員会・福島県矢祭町教育委員会・宮城県延岡市の4市町村が参加

○客員准教授4名、共同研究員2名の称号付与

企業も行政も
学校現場も研究者も
一つのチームとして
学校現場の中に入って
学校を創ろう！



未来の学校
みんなで創ろう。
PROJECT

舞台 東京学芸大学附属竹早幼稚園竹早園舎・小学校・中学校
岩手県山田町 ・ 岡山県津山市 ・ 神奈川県葉山町 ・ 福島県矢祭町 ・ 宮崎県延岡市

チーム GROOVE X NECネットエスアイ NPO法人xTReeE エコツツエリア協会 エプソン ケネス コクヨ
ジブラルタ生命保険 ソニーマーケティング 日本文教出版 富士ソフト メント リートン
一般社団法人コペルニク・ジャパン 一般社団法人三菱みらい育成財団 東洋館出版社 FIREBUG
FUNDARD JMC JVCケンウッド Kakedas NDH アフロ カモマン ジョルテ ナディア ナリカ
ポプラ社 リクルート 学研教育みらい 出島プランニング 内田洋行 博報堂 三菱地所
授業研究グローバルサービス 認定特定非営利活動法人Teach For Japan アシスト合同会社

岩手県山田町 ・ 岡山県津山市 ・ 神奈川県葉山町 ・ 福島県矢祭町 ・ 宮崎県延岡市

「未来の学校 みんなで創ろうPROJECT」は10年後の学校を3年後に実装することを目標に、東京学芸大学附属竹早学校区を中心に展開されている東京学芸大学教育インキュベーションセンターのプロジェクトです。

大人
も

好きに、挑む。

学校は「答え」を探す場所でしょうか？

「正解」を教える場所でしょうか？

私たちはこれからの学校が、

「答え」より「好き」を見つけられる場所であってほしいと考えています。

広い世界を自分の足で歩き、自分の目で見つめ、自分だけの「好き」を見つける。

そんな一番星を見つけた子どもたちの、色とりどりの「好き」で溢れる教室があったら、

明日の学校がどんなにワクワクするでしょう。

夢中で「好き」に挑むその熱量は、きっとどんなルールや知識をも超えて、

社会を大きく動かす原動力になると私たちは信じています。

「好き」に挑む人生、明日の学校がその第一歩になりますように。

成果主導型でなく、「好き」駆動型

○明確な成果目標や計画を立てるPDCAサイクルでなく、参加者各人の課題意識を明らかにしながら試行錯誤を繰り返すOODAループで研究開発を進める。

○明確な成果目標でなくプロジェクト全体のビジョンを共有する。

○予算を計上せず、必要な時に必要なリソースや予算を参加者自身が獲得する。

○附属学校でのみ実装可能な最先端のソリューションではなく、公教育への普及可能性を担保して研究開発を進める。



○多様な共創プロジェクトの発生

教室環境・探究的な学びと評価・学校図書館・基礎学力・学校の居心地・キャリア教育・VR/AR・ゲーミフィケーション・教員の魅力

○企業からの多様なリソース提供

5Gレベルのネット環境整備・教室へのICT機器の導入・VRゴーグル・電子書籍システム・AIドリル教材・ゲーム教材等

○学校内共創空間整備

「未来の学校 みんなで創ろうPROJECT」は10年後の学校を3年後に実装することを目標に、東京学芸大学附属竹早学校区を中心に展開されている東京学芸大学教育インキュベーションセンターのプロジェクトです。

大人
も

好きに、挑む。

学校は「答え」を探す場所でしょうか？

「正解」を教える場所でしょうか？

私たちはこれからの学校は、
「答え」より「好き」を元にした学びがあってほしいと考えています。
広い世界を自分の足で歩き、自分の目で見つけ、自分だけの「好き」を見つける。
そんな一番星を見つけた子どもたちの、色とりどりの「好き」で溢れる教室があったら、
明日の学校がどんなにワクワクするでしょう。

夢中で「好き」に挑むその熱量は、きっとどんなルールや知識をも超えて、
社会を大きく動かす原動力になると私たちは信じています。

「好き」に挑む人生、明日の学校がその第一歩になりますように。

予算
0円

成果主導型でなく、「好き」駆動型

○明確な成果目標や計画を立てるPDCAサイクルでなく、参加者各人の課題意識を明らかにしながら試行錯誤を繰り返すOODAループで研究開発を進める。

○明確な成果目標でなくプロジェクト全体のビジョンを共有する。

○予算を計上せず、必要な時に必要なリソースや予算を参加者自身が獲得する。

○附属学校でのみ実装可能な最先端のソリューションではなく、公教育への普及可能性を担保して研究開発を進める。



○多様な共創プロジェクトの発生

教室環境・探究的な学びと評価・学校図書館・基礎学力・学校の居心地・キャリア教育・VR/AR・ゲーミフィケーション・教員の魅力

○企業からの多様なリソース提供

5Gレベルのネット環境整備・教室へのICT機器の導入・VRゴーグル・電子書籍システム・AIドリル教材・ゲーム教材等

○学校内共創空間整備

○NTT東日本：小中、各1教室への個別のネットの引き込みとWi-Fi6の導入によるネット環境整備

○PICOジャパン：VRヘッドマウントディスプレイPICO20台

○内田洋行：小学校1室へのICT機器の導入の基盤となる仕組み「SUGOI部屋」機材のアップデート

○SONY：大型ディスプレイレンタル・学校内制作スタジオの機材レンタル Ci Media Cloud

○NEC：教育データのAI分析実施

○FIVE for：VR体験会の実施

○ポプラ社：電子書籍システムの導入

○AFLO：写真データアーカイブの活用

○NTT西日本：VR教材の放映システムの活用


○モノグサ株式会社：AIドリルアプリの活用

○博報堂：ビジョン作成・ロゴ作成

○SOLIZE株式会社：VRを活用した理科教材の開発

○JVCケンウッド：Your Live クリエイター向けWEBサービス「QUIET STARS」

○富士ソフト：FAM campus



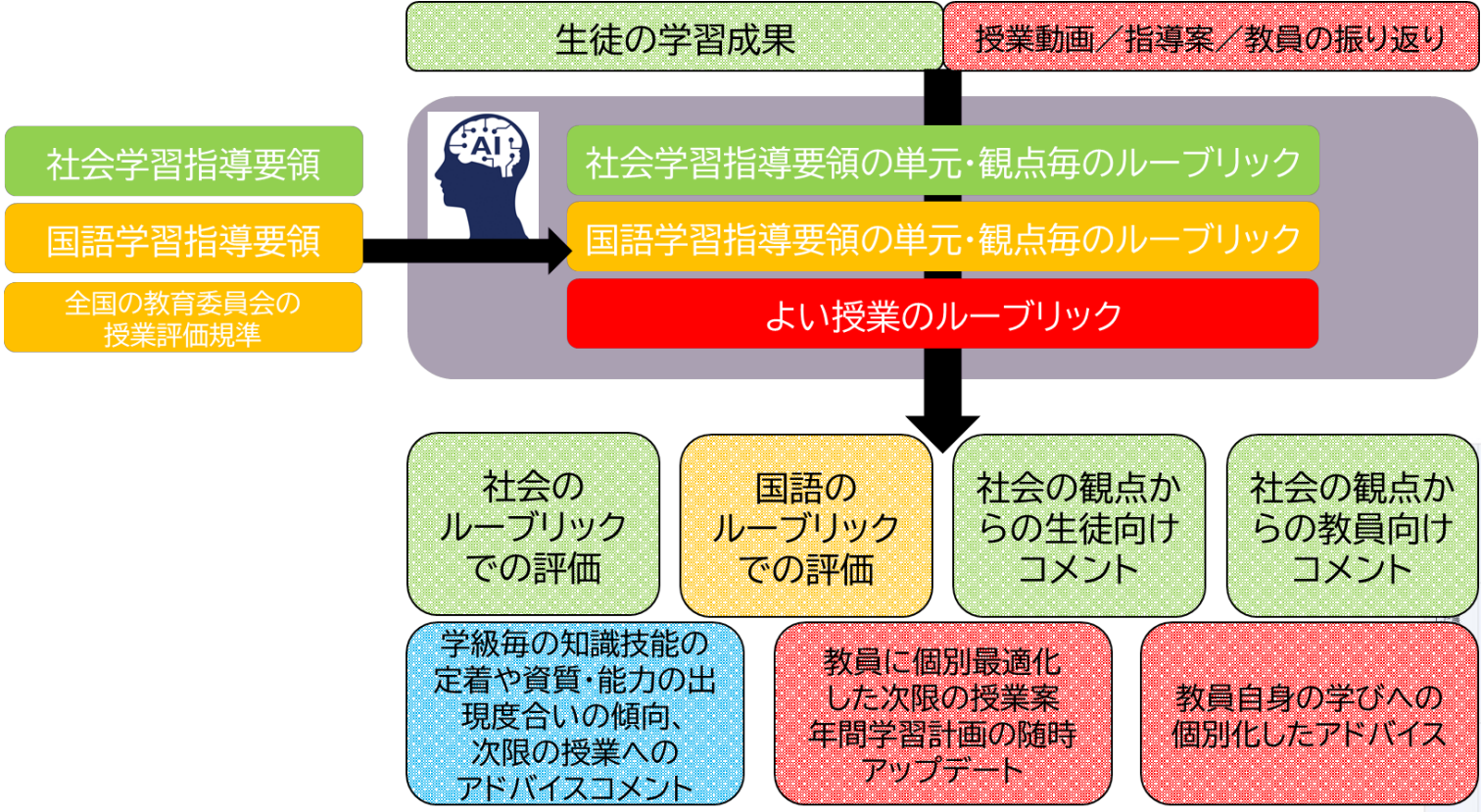
金銭的な
やり取りは
一切なし

先生方とチームになってくれる人材を出してくださることが一番のリソースの提供

先導的な実践研究

AIを活用した授業診断システム

教員の授業力アップのためのAIによる授業評価システム



上図先生：鎌倉時代 - 蒙古襲来(元寇)

授業力向上のためのフィードバック

授業を終えられた先生へ

今回の授業、誠にお疲れ様でした。生徒たちが歴史の当事者として時空になりました。「この国をどう乗り越えるか」と真剣に議を凝らす姿は、まさに歴史を学ぶ醍醐味そのものでした。特に、複雑な国際情勢の中から「ローマ帝国」という大胆な仮説を導き出したリ、フビライハンの策謀を読み解こうとしたりする生徒たちの姿からは、先生が創り出す知的な冒険に心から没入している様子が伝わってきました。

これは、先生が単に知識を教えるのではなく、生徒一人ひとりの思考を信じ、それを引き出し、最もふさわしい「ファシリテーター」としての卓越した力量をお持ちに他なりません。生徒たちが安心して自由に思考の翼を広げられる、温かくも挑戦的な学びの場を創り出されていることに、深い感銘を受けました。

さらなる高みに向けて、具体的な視点からの提案

にするための視点をいくつか提案させ

【レベル感等のメモ】授業の構造(レベル4)。対立構造を明確にすることで、生徒がドラマとして歴史を理解しやすくなっている。
【発言(行動)】「これから皆さんは鎌倉の執権、北条時宗です」と宣言し、生徒を当事者の立場に引き込んでいる。
【レベル感等のメモ】導入・展開の工夫(レベル5)。生徒を歴史の当事者としてロールプレイングさせることで、肉体的な動機づけと深い没入を促している。
【発言(行動)】最初の国書を提示し、「誰が、どんな目的で送ってきたか」「時宗の立場だったらどう対応するか」という思考を促す問いを明確に投げかけている。
【レベル感等のメモ】発問の質(レベル4)および指示の明確さ(レベル4)。課題が具体的に、生徒が迷わず思考活動に入れるようになっている。

21-25分:

【発言(行動)】国書①について、「オレオレ群衆みたい」「ジャイアンみたい」といった生徒の自由な発想を肯定的に受け止めている。
【レベル感等のメモ】教員の雰囲気(レベル5)。生徒が「間違えても大丈夫」と感じ、安心して発言・挑戦できる心理的安全性が確保されている。
【発言(行動)】「無視する」という生徒の意見に対し、「返事を期待している相手に無視するのは喧嘩を売ることにならないか?」と問い返し、多角的な視点から考えるよう促している。
【レベル感等のメモ】問い返しと全体化(レベル4)。一人の生徒の意見がクラス全体の検討課題へと発展させ、安易な結論に流れないよう思考を深めさせている。
【発言(行動)】生徒から「時間を稼ぎたい」という、当時の幕府の本質的な状況を見抜く意見が引き出されている。
【レベル感等のメモ】生徒の活動とエンゲージメント(レベル4-5)。生徒が課題に深く没入し(Deep)、教師に与えられた情報から本質的な洞察を導き出している。

26-30分:

【発言(行動)】国書②と③を「ほぼ同時に聞く」という条件で提示し、課題をより複雑で思考がいのあるものに設定している。
【レベル感等のメモ】思考の展開(レベル4)。思考を深めるための構造化された活動が意図的に設計されている。
【発言(行動)】「隣近所の人を話し合って考えてみて」と、協働学習の指示を明確に出している。
【レベル感等のメモ】生徒の活動(レベル4)。「一人で考える」段階から「協働で検討する」段階へ移行させ、対話による学びの深化を意図している。
【発言(行動)】資料集の活用を促し、生徒が根拠に基づいて考えることを支援している。
【レベル感等のメモ】主体的な学習態度(レベル4)。生徒が自ら情報を収集・分析し、結論を導き出すプロセスを重視している。

31-35分:

【発言(行動)】(音声から推測)生徒たちがペアやグループで活発に議論している。教師は机間指導を行い、個々のグループの議論を活性化させている。
【レベル感等のメモ】対話の質と量(レベル4)。課題解決に向けて、生徒間で活発な意見交換が行われている。

レベル4	生徒の関心事項である大岡道マヤやザッパの起原について、当時の史料を引用し、生徒が史料や導入の刺激から自ら「この手紙、怪しくない?」「本物の狙いは何だろうか?」といった問いを発見し、それがクラス全体の学習課題へと昇華されていくような展開が考えられます。	レベル5へ。現在の展開は非常に効果的ですが、さらにレベルを上げるには、生徒が史料や導入の刺激から自ら「この手紙、怪しくない?」「本物の狙いは何だろうか?」といった問いを発見し、それがクラス全体の学習課題へと昇華されていくような展開が考えられます。
レベル4	「青い知識のインプット」→「国書」の読解(自力思考)→「国書」の読解(協働学習)という、思考を深めるための構造化された活動が明確に設計されている。	レベル5へ。現在の構造は非常に効果的ですが、さらにレベルを上げるには、生徒が史料や導入の刺激から自ら「この手紙、怪しくない?」「本物の狙いは何だろうか?」といった問いを発見し、それがクラス全体の学習課題へと昇華されていくような展開が考えられます。
情報不足	音声記録のみでは、計画に対する実際の時間配分や、生徒の状況に応じた柔軟な調整があったかを正確に判断することは困難。ただし、主要な活動が全て記録されていることから、適切な計画が立てられていたと推察される。	-
まとめと振り返り	授業の終盤で、生徒の探究活動の結果(南宋や三別抄の存在)と歴史的事実を結びつけ、「彼らの抵抗が日本の時間経過になった」という多角的で深い視点を提示している。これにより、生徒は自らの学びの成果と意義を明確に見えてきている。	根拠的な実践です。この深い洞察を、生徒自身の言葉でノートにまとめさせたり、ペアで語り合わせたりする時間を確保することで、学びの定着と個々の言語化能力の育成をさらに強化できます。

共創空間開発



中学生と教員と
コクヨさんでレイ
アウトや家具の選
定をしました。

PC室をに共創空間にリニューアルしよう！



展開可能な予算でのICT導入の教室のモデル化

表題

未来の学校プロジェクト 学校と企業の協働による “SUGOI部屋” 協創と活用の取り組み



“SUGOI部屋”一番の特長は壁を埋めつくす巨大スクリーン。圧倒的な情報量を活かしたオンライン授業では、農家さんとの交流を通してフードロス問題に迫り、人権が脅かされている子どもたちが通うタイの学校との交流では経済問題に迫りました。また、GIGAスクール端末を活用し、子どもたちの考えを画面いっぱいに表示して共有する事も可能。最先端の環境を使いながら、投影装置や音響設備、使用するソフト等の使い勝手を企業にフィードバックし、随時アップデートする事で、最先端かつ使いやすい環境での授業提案が続けられています。



情報共有ソフトの活用

情報活用のための“最先端”かつ“使いやすい環境”をつくる

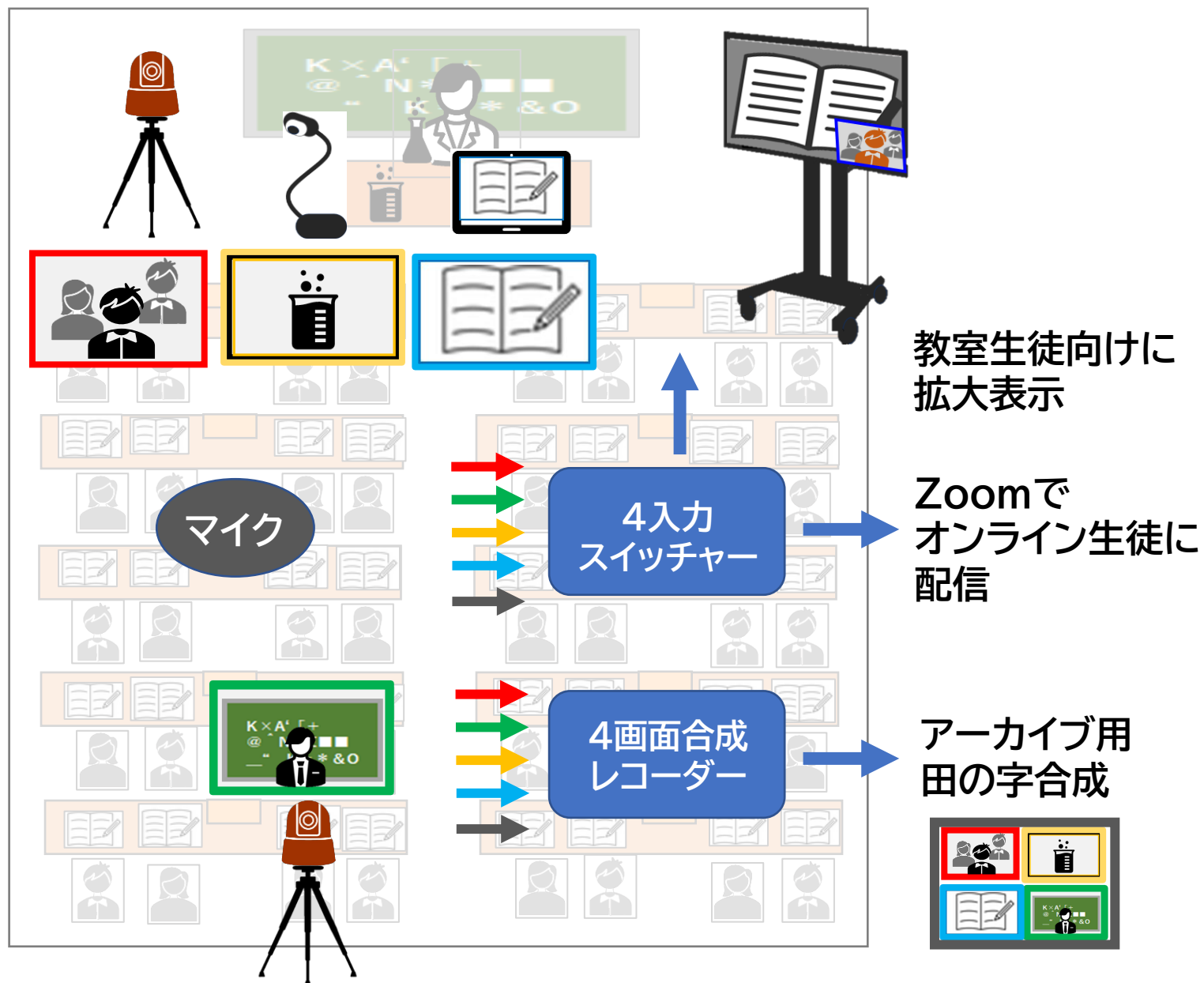
未来の教室環境&普及可能なパッケージを目指す

授業図書館構想 (教員研修／教員養成)

入力映像/音声

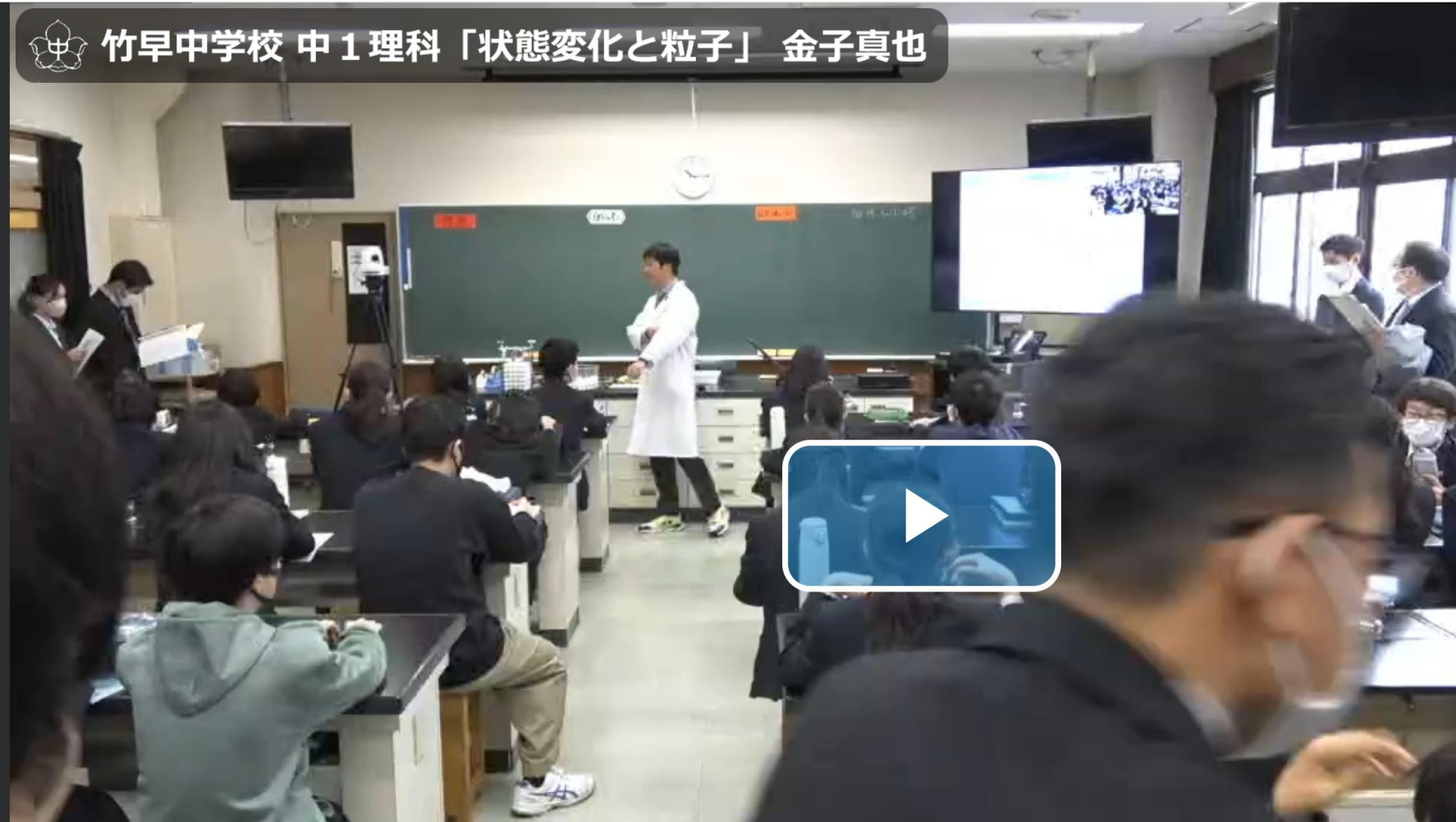
- 1) 教室前方カメラ(生徒)
- 2) 教室後方カメラ(板書/先生)
- 3) 書画カメラ(手元)
- 4) タブレット(ロイロノート・生徒のノート)
- 5) 収音マイク(先生/生徒の声)

ボタンを
一つ押せば
授業を
配信と記録
ができる
教室をつくらう！





竹早中学校 中1理科「状態変化と粒子」 金子真也



CAM 01

(問)
3mLの水だけが入ったビニール袋
を、98℃の水と触れ合わせて温度
を上げると、ビニール袋はパンパ
ンに膨らむか？

CAM 02



CAM 03



CAM 04



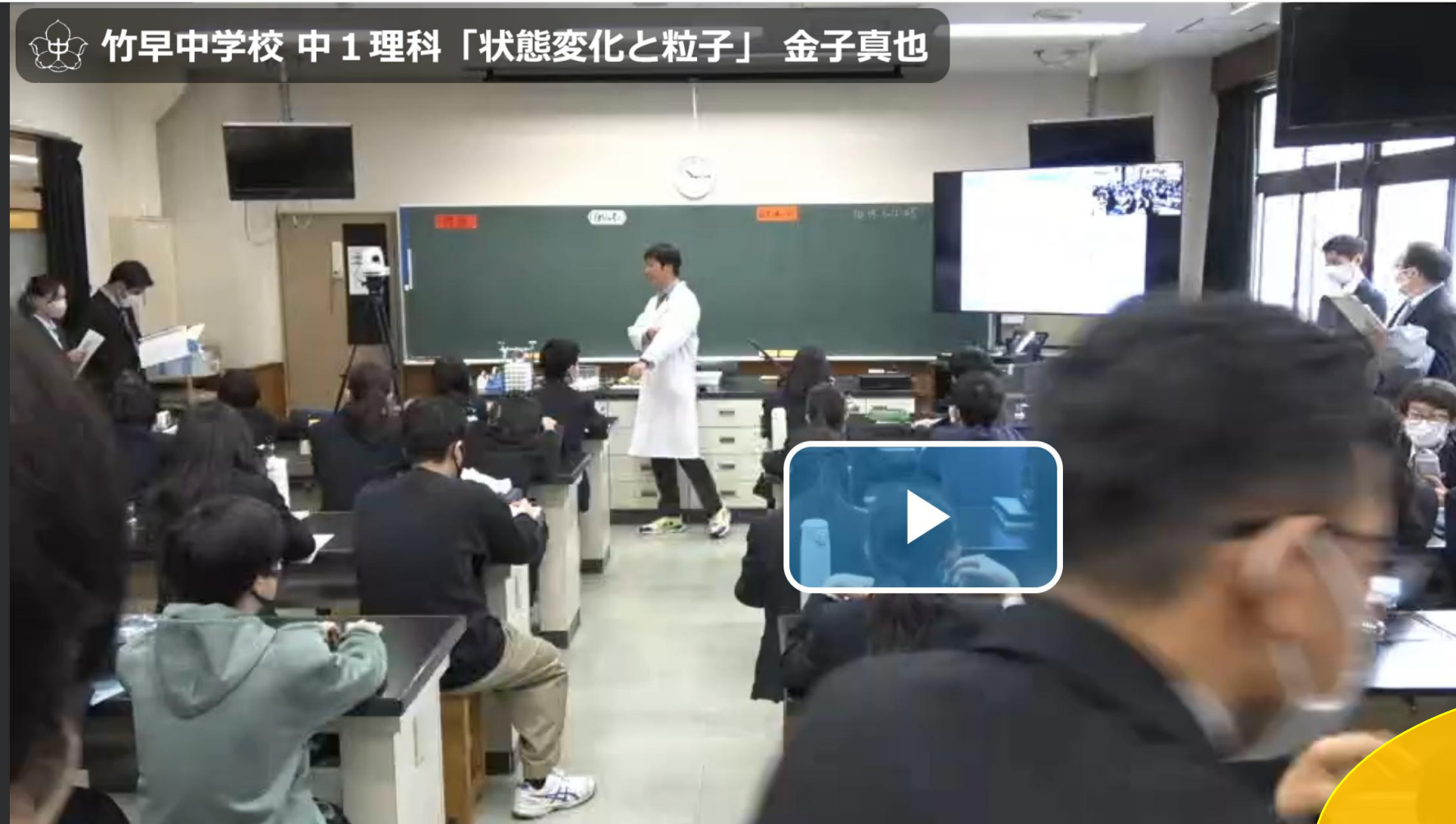
▶ 0:00 / 52:38 🔊 ⏮ ⏪ ⏩ ⏭ 📺 📱 📶 ⓘ

1x 🗑

📺 128 👤 1 🗑 0



竹早中学校 中1理科「状態変化と粒子」 金子真也



CAM 01

(問)
3mLの水だけが入ったビニール袋
を、98°Cの水と触れ合わせて温度
を上げると、ビニール袋はパンパ
ンに膨らむか？

CAM 02



CAM 03



CAM 04



見たい画面を
大きくみる！

▶ 0:00 / 52:38 🔊 ⏮ ⏭ ⏮ ⏭ ⏏ ⏏ ⏏ ⏏ ⏏ ⏏ ⏏ ⏏

📺 128 👤 1 🧠 0

※ご提案資料として、画面イメージは簡素化してあります

論理的思考力

共有 ダウンロード

コメント 以下の場合

論理的思考力

新規コメントを追加

並び替えの基準 タイムコード

〇〇花子
このシーンのxxを生徒が理解しやすい
なる教え方のコツを、教えてください。

00:05

□□太郎
其々に考えを書き出させてから、それを
元に発表をさせると、考える力と理解が
深まります。

〇〇花子
なるほど皆の発表を聞くことで、色んな
考え方があることの認識もできますね。

△△次郎
花子さんと同じ疑問を持っていました。
人の発表を聞くのも、勉強法のひとつで
すね。

返信を追加

ポイント1

オンデマンドの為、時間/場所を気にせず、都合の良いタイミングで何度でも確認できる。考えを整理してから、コメントができる。

ポイント2

授業全体への意見/感想ではなく、気になったシーンを見ながらコメントのやり取りができる。より具体的な理解ができる！

- 視聴者が、気になったシーンで質問/感想などコメントを記入。
- 授業を実施した教員が、そのシーンでどの様に考えて授業進行をしたか、あるいは質問についての回答などを記入。
- 他のコメントを見て気づきを得たり、視聴者同士での意見交換が可能。

距離も時間も
属性も年齢も
超えて
授業の協議会を
やろう！

1周年記念無料オンラインセミナー

第1弾 9月12日 (土) 16:00-17:00
加瀬 進
宮下 佳子

第2弾 10月21日 (土) 16:00-17:00
伊藤 林太郎
山田 裕介
山本 将裕

第3弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
堀田 龍也
登本 洋子
西田 友幸

ログイン 新規ユーザ登録 掲載講座一覧 (テーマ別) 受講の流れ (受講者マニュアル)

コース

第1弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第2弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第3弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第4弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第5弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第6弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第7弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第8弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第9弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第10弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第11弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第12弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第13弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第14弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第15弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第16弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第17弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第18弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第19弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

第20弾 11月26日 (土) 16:00-17:00
「中核的な概念」と「教育実践の能力」
～次世代学習者育成に向けて
展開されていること～

公開研究会でオンライン配信した授業実践を中心にした授業動画を教員研修のプラットフォームにてオンデマンド配信

竹早中学校 中1理科「状態変化と粒子」 金子真也

CAM 01 (間) 3mLの水だけがいったビニール袋を、98℃の水と触れ合わせて温度を上げると、ビニール袋はパンパンに膨らむか？

CAM 02

CAM 03 選択中

CAM 04

0:00 / 52:38

128 1 0

企業のプロダクト化による公教育への普及

公教育に実装可能なICTを導入した教室モデル

UCHIDA



EXPLAYGROUND

UCHIDA

企業情報

株主・投資家の皆様へ

商品・サービス

サポート情報

採用情報

サイトマップ

English



国際中等教育学校 世田谷中学校 特別支援学校 へ展開



01 鴻巣市立鴻巣中央小学校 様



02 東京学芸大学附属
竹早小学校 様



03 帝塚山学院
泉ヶ丘中学校高等学校 様



04 兵庫県立
姫路商業高等学校 様



05 学校法人近江育英会
近江高等学校 様



06 学校法人日通学園
流通経済大学付属
柏高等学校／中学校 様





メタバース空間でアバターになって道德対話をしたようになるだろうか？

スタートアップとの協働
現場教員による企業開拓

東京学芸大学と株式会社SPLYZAが新しい公教育の創造をめざし連携協定を締結

「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」東京学芸大学附属学校園竹早地区で1月より実証実験開始

株式会社SPLYZA 2024年2月20日 11時00分

♡
542



「スポーツは考える力を育む」をコンセプトに、アプリケーション開発で「スポーツ×教育」の支援を行う株式会社SPLYZA（所在地：静岡県浜松市、代表取締役：土井 寛之、以下「SPLYZA」）と、国立大学法人東京学芸大学（所在地：東京都小金井市、学長：園分 充、以下「東京学芸大学」）は、2023年12月19日（火）に連携協定を締結しました。東京学芸大学が推進する「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」に賛同し、1月より東京学芸大学附属学校園竹早地区にて実証実験を開始しました。



東京学芸大学 X SPLYZA

【連携協定締結の目的】

本プロジェクトは、誰もが「好きに、楽しむ」ことができる未来の学校モデルの開発に挑戦していくことを目指しています。Society5.0に向けた新しい学校システム創りに国立大学法人東京学芸大学を中心に、教員、企業と教育委員会がワンチームとなって、挑戦します。映像振り返りツール「SPLYZA Teams」や動作解析アプリ「SPLYZA Motion」を体育の授業内で活用するだけでなく、様々な教育プログラムに展開、東京学芸大学とSPLYZAが相互に協力し新しい公教育を創造していく活動を行います。

【連携・協力内容】

- 「未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT」への参加
附属学校等での研究開発・実践に関して相互協力をする

【協定締結にあたり各代表者のコメント】



東京学芸大学附属竹早小学校 体育科
早川光洋氏

これまでの体育授業においても、動きを捉えて自分の出現率を確認したり、チームの作戦がうまくいっているかを確認するということはしてきましたが、CIGAスクール構想で一人一台端末が実現し、SPLYZA Teamsを使用することで、動画への前送込みや、タグをつけるということが容易にできるようになりました。また、動画にデータが出たり、クラウドに共有されることで、より客観的に自分、自分たちを振り返りやすくなりました。さらに、本校は国立大学附属学校として教育実習の受け入れを行っています。高専実習生が行った授業のフィードバック材料に活用ツールとしても有効に活用できるのではないかと期待しています。



株式会社SPLYZA 代表取締役 土井
寛之

この度は、東京学芸大学様と連携協定を締結することが大変嬉しく思います。相互に連携・協力することで、当社ソフトウェア製品の活用を取り入れた授業・教育の新たな可能性を追求するとともに、スポーツや体育自体の教育的価値のさらなる向上を目指して取り組んでいきたいと思っています。



【東京学芸大学について】

URL: <https://www.u-nakuru.ac.jp/>

東京学芸大学は、人権を尊重し、すべての人々が共生する社会の建設と世界平和の実現に寄与する。、豊かな人間性と科学的精神に立脚した学芸思想の教育研究活動を通して、高い知識と教養を備えた創造力・実行力に富む有為の教育者を養成することを目的とします。



【株式会社SPLYZAについて】

URL: <https://www.splyza.com/>

株式会社SPLYZAは、アプリケーション開発を通して「スポーツ×教育」を支援します。

社会に出くから必要とされる「主体性」や「考える力」をスポーツ・運動を通して育むことができると感じてもらえるように、スポーツの教育的価値のさらなる向上をめざしています。

東京学芸大学×リートンテクノロジーズジャパン、生成AIを活用した学生の学習支援で連携協定を締結

Wrtn Technologies, Inc. 2024年11月6日 17時00分



生成AIプラットフォーム企業、株式会社リートンテクノロジーズジャパン（本社：東京都港区、代表：イ・セヨン、以下「リートン」）は、2024年11月6日（水）に、国立大学法人東京学芸大学（所在地：東京都小金井市、学長：國分 允、以下「東京学芸大学」）と連携協定を締結しました。

今後、東京学芸大学が推進する『未来の学校 みんなで創ろう。PROJECT』に参画し、リートンが提供する生成AIのサービスを活用した授業の実施などを通して、学生の学習支援に取り組んでまいります。



未来の学校 みんなで創ろう。 PROJECT

■ 連携協定締結の背景と目的

リートンテクノロジーズジャパンは、これまでも学生の学習支援を目的とした教育機関への生成AI導入に関して、教員への研修会や講義の開催や、生徒がリートン提供のAIキャラクターを活用した授業の実施などに取り組んで参りました。

今回の連携協定締結では、東京学芸大学が推進する、教員・企業・教育委員会がワンチームとなって、Society5.0に向けた新しい学校システム創りに挑戦する「未来の学校みんなで創ろう。プロジェクト」に参画し、「AIキャラ作成機能」「キャラチャット」など対話型生成AIの機能をはじめとしたサービスを提供することで学生の学習を支援し、本取り組みを通して若年層へのAI活用・理解促進を目指します。今後もリートンは、生成AIのサービスを提供することで、より豊かで快適な生活の実現を提案するとともに、さまざまな取り組みを通して正しいAIの活用方法の普及に尽力しています。



東京学芸大学附属竹早中学校 教諭 中込泰規先生のコメント

AIキャラクターは、生徒の学習グループの一員として、協働的に学習を進める役割を担ってくれると考えています。近年、生成AIを使用した授業実践が盛んに行われていますが、そのほとんどは、生成AIが考え方のヒントを与えたり、生徒が見出した考えを最終的に評価したりするものです。私は、もっと生徒とAIキャラクターがインタラクティブに関わる可能性を探求しています。例えば、複数のAIキャラクターを使用することで、多角的・多面的に物事を捉えながら展開するといったものです。このような実践を通して、生徒は従来よりも多様な考えや知識を包含し、自らの意思決定が行えるようになることを期待しています。



リートンテクノロジーズジャパン 日本ビジネスマーケティング責任者 増田良平のコメント

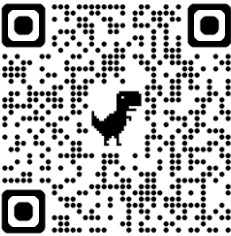
リートンのAIキャラは、さまざまな分野での活用が進んでおり、特に教育機関での導入が盛んです。学力的に優れた生徒であっても、人からの批判を恐れずに意見を述べることは難しく、特に中学生や高校生においてはその傾向が顕著です。リートンのAIキャラは、こうした生徒の不安を取り除き、より活発な議論を促進する手助けが可能です。

学芸大学様において先進的なAIキャラの活用が進む中、リートンのAIキャラがさらなる発展を遂げ、多くの方々のお役に立てることを心より願っております。リートンのAIキャラが教育現場において生徒たちの自信を育み、より良い学びの環境を提供できることを期待しています。今後とも、リートンの取り組みにご注目いただけますと幸いです。

企業協働型の公開研究会／イベント

東京学芸大学竹早地区附属学校園公開研究会 2025 タイムスケジュール 案 V13

協賛 企業 ブー ス	<div><企業ブース展示> 小学1階 ランチルーム (第2000k0k0ブース)</div> <div>・株式会社内田洋行 ・エプソン販売株式会社 ・株式会社ジョルテ ・TOPPAN デジタル株式会社 ・ソニーマーケティング株式会社 ・富士ソフト株式会社 ・株式会社リートンテクノロジーズジャパン ※企業名は昨年度のもの</div>										中学3階Dルーム マルチアングル配信	マルチアングル配信体験 株式会社 JVC ケン ウッド	Online 配信
	公開 枠1 9:00 ～ 9: 45/50	小3-2 国語科 高須みどり ことばの世界を旅し よう ～詩の言葉・友達 の言葉・自分の言葉～ 小学3階 3-2	小5-1 社会科 上野敬弘 「米農家の一年」 ゲーム化 小学3階 SUGOI 部屋 中学3階Dルーム マルチアングル配信	幼稚園5歳 阿部かほり 「友達と考えるを出し合 って遊ぶ」 幼稚園 遊戯室	中1C数学科 福岡卓海 「データの特性」 Online 配信 中学3階 実習生指導室	小6-2理科 金田知之 「発電しよう」 小学3階 理科室 中学3階Dルーム マルチアングル配信	小4-1音楽科 大内絵理香 「筆の魅力をせま らう～音楽づくりを 通して～」 小学2階 音楽室		中3D保健体育科 齋藤貴博 「ハンドボール」 中学1階 下校庭・体育館				
公開 枠2 10:05 ～ 10: 50/55	中2A 国語科 堀内 泰 「読む楽しさ」 Online 配信 小学3階Dルーム マルチアングル配信	小5-2 社会科 恒川徹 「日本の食料生産」 小学1階 5-2	中3B 道徳科 中川千香子 WRAP: 「希望の感覚」 中学4階 視聴覚室	幼稚園5歳 阿部かほり 「友達と考えるを出し合 って遊ぶ」 幼稚園 遊戯室	小6-1 算数科 山田剛史 「データの特性」 Online 配信 中学3階 実習生指導室	中1D理科 北田 健 「身の回りの現象」 中学3階 物理化学室 中学3階Dルーム マルチアングル配信	中2B 音楽科 中野未穂 「音でつながる」 中学1階 音楽室	小2-2 図工 桐山卓也 「アート造形」 小学2階 図工室	小5-1 体育 早川光洋 「三角ゴールハンド」 中学1階 体育館	研究発表 養護協議会 東京学芸大学 朝倉 隆司 名誉教授 (田岡朋子・塚越潤)			
協議 会 11:10 ～ 12:30	中 国語科協議会 (堀内 泰) 「主体的に作品の魅力 に迫る「読む領域」の授 業づくり」 元広島女学院大学 植西浩一教授 中学1階 国語室	小 国語科協議会 (高須みどり) 文教大学 藤森 祐治 教授 小学1階 6-1	ゲームフィクション 協議会 (上野敬弘) Online 配信 小学3階 SUGOI 部屋	中 道徳科協議会 (中川千香子) 中学4階 視聴覚室	幼稚園協議会 (町田理恵・ハム亜弥 子・阿部かほり) 「デジタル記録を活用した 保育実践」 幼稚園 遊戯室	小中 算数科・数学 科協議会 (山田剛史・福岡卓海) 東京学芸大学 中村 崇一 教授 中学5階 実習生指導室	小中 理科協議会 (金田知之・北田 健) 東京学芸大学 塚越 雅夫 准教授 中学3階 物理化学室	小中音楽科協議会 (大内絵理香・中野未 穂) 琉球大学 徳富健治 准教授 中学1階 音楽室	小 図工協議会 (桐山卓也) 東京造形大学 小林 貴史 教授 小学2階 図工室	小中保健体育科協議会 (早川光洋・齋藤貴博) 筑波大学附属中学校 秋山 和輝 教諭 玉川大学教育学部 久保 賢太郎 講師 中学2階 中1A/B 教室	中3C家庭科 神澤志乃 「家庭科×理科」 東京学芸大学 塚崎 舞 講師 中学2階 被服・調理室		
食 事	○	○	×	×	○	○	○	×	×	○	○		
昼 食 12:30 ～ 13:40	※昼食は基本的に午前の協議会の会場をご利用ください ※【食事】となっている場合は、小学1階 ランチルームをご利用ください。 当日のお弁当の販売もしております。												
公開 枠3 13:40 ～ 14: 25/30	小1-2 国語科 曾根朋之 「今こそ名作を読み 深めよう」 Online 配信 小学1階 1-2	中1A技術科 岡崎 靖 「材料と加工の技術に よる問題解決」 中学1階 技術室	中1D社会科 内藤主太 地理的分野 「世界の地図」 Online 配信 中学4階 グループ室	小 道徳・総合(1) (2) 研究発表・ワークシ ョップ・協議会 「メタバースの教育的 活用」 (幸阪創平・中村高太) 東京学芸大学 松尾 直博 教授 萩上 健太郎 准教授 小学3階 SUGOI 部屋	中1B英語科 松津英恵 「Unit 7 An Online Tour of the U.K.」 中学4階 視聴覚室	小4-2算数科 鈴木 侑 「データの活用」 小学3階 4-2	研究発表 キャリアカウンセリング 「教員の心とキャリアを支 えるキャリアカウンセリ ング～新しい支援の効果と 可能性～」 (NPO 法人 xTreeE 代表理事 北川雄久) 中学5階 実習生指導室	研究発表 「生成 AI の活用と 教育評価」 (上岡 悦史) 中学5階 実習生指導室	研究発表 「メタバース空間を活用し た大学生との鑑賞活動 (実践報告)」 (杉坂洋嗣) 中学4階 美術室	小3-1 体育 原田雄太 「セストボール」 中学1階 体育館	中2D理科 中込泰規 「理科×家庭科～生成 AI と考えるこれからの 環境問題～」 Online 配信 小学3階 SUGOI 部屋		
協議 会 発表 会 14:45 ～ 16:25	小 国語科協議会 (曾根朋之) 山梨大学 茅野 敬徳 教授 Online 配信 小学2階 1-2	中 技術科協議会 (岡崎 靖) 「これから求められる 技術教育について」 中学1階 技術室	小中 社会科協議会 (恒川徹・内藤主太) 東京学芸大学 日高 智哉 准教授 Online 配信 中学4階 社会科室	小 道徳・総合(1) (2) 研究発表 萩上 健太郎 准教授 小学3階 SUGOI 部屋	中 英語科協議会 (松津英恵) 東京学芸大学 高山芳樹 教授 中学4階 視聴覚室	研究発表 「ハイフレックス授業や 授業アーカイブから考 える未来の授業研究」 (金子 真也) 中学3階 Dルーム	研究発表 「デジタルポートフォリオ の利活用」 (桐山卓也・杉坂洋嗣) 東京造形大学 山田猛 教授 中学4階 美術室	研究発表・VR 体験 「デジタルポートフォリオ の利活用」 (桐山卓也・杉坂洋嗣) 東京造形大学 山田猛 教授 小学3階 3-1	小 体育科 協議会 (原田雄太) 東京学芸大学 鈴木 聡 教授 小学3階 3-1	中 理科+家庭科 協議会 (中込泰規・神澤志乃) 宮い 大学 中村大輝 講師 東京学芸大学 渡辺 理文 准教授 Online 配信 小学3階 SUGOI 部屋 国語室			



現場の教員が
500人以上
参加！

企業連携の授
業と協議会と
研究成果発表

【協賛・ブース出展】
日本文教出版株式会社
株式会社内田洋行
株式会社JVCケンウッド
エプソン販売株式会社
株式会社ポプラ社
ソニーマーケティング株式会社
株式会社ナリカ
株式会社 東洋館出版社
株式会社ジョルテ

“未来の学校みんなで創ろう。Ongoing CONFERENCE



7月12日 15時～ リクルート九段オフィス

日本中の
学校改革の
アイデアを
共有しよう！

- #1 茨城県立鉾田第一高等学校 GSNPチーム(School Warriors)様
「相談しやすい世の中へ～心理的安心性を高めるためのアプローチ～」
- #2 茨城県立鉾田第一高等学校 GSNPチーム(みんなを助け隊)様
「居場所づくりのサポート～子どもたちが生き生きと輝くために～」
- #3 北海道教育大学 未来の学び協創研究センター 佐藤 正範様
「変わるぞ！教員養成系大学の「学び」の現在地 -産学官連携による試される大地の先端教育事例-」
- #4 株式会社IRODORI 代表取締役 取締役 谷津 孝啓 様／永井 彩華 様
「DXハイスクールで変化した地方で暮らす高校生の意識～MIT AppInventorを活用した総合的な探究の時間～」
- #5 東京学芸大学附属竹早小学校 主幹教諭 山田 剛史 様
「風通しのよい学校づくり」
- #6 渋谷区立神南小学校 主幹教諭 鍋谷 正尉 様
「公立小学校の現在地と目指すべき未来～新しい学びから校務DXまで～」



<https://ongoing-conference-202507.peatix.com/>



「未来の学校みんなで創ろう」としている Ongoing な取り組みについて、実践者達が一同に集い・語り、さらなる一歩を踏み出すためのイベントです。
第3回となる今回の会場は九段下！武道館が真横に見え、元大学校舎をリノベーションした会場です。
飲食の持ち寄り大歓迎です！
インプットからネットワーキングまで、ぜひご活用ください。

Agenda 内容

● Ongoing! Presentation (15分ずつ)

Presenter

- ・北海道教育大学
- ・東京学芸大学附属竹早小学校
- ・株式会社IRODORI
- ・茨城県立鉾田第一高等学校
- ・渋谷区立神南小学校

※ご登壇いただく方や演題の詳細は、下記WEBサイトをご覧ください。※順不同

● AFTER PARTY!

※参加費は無料です。※飲食の持ち込みをお願いします。

Location 開催場所

九段坂上 Ksビル 7階

東京都千代田区九段北 1-14-6

▶ 九段下駅徒歩 5分

▶ 14:30 から開場いたします

Host 主催

国立大学法人東京学芸大学

未来の学校みんなで創ろう。PROJECT

ご参加のお申し込みはこちらから <https://ongoing-conference-202507.peatix.com/>

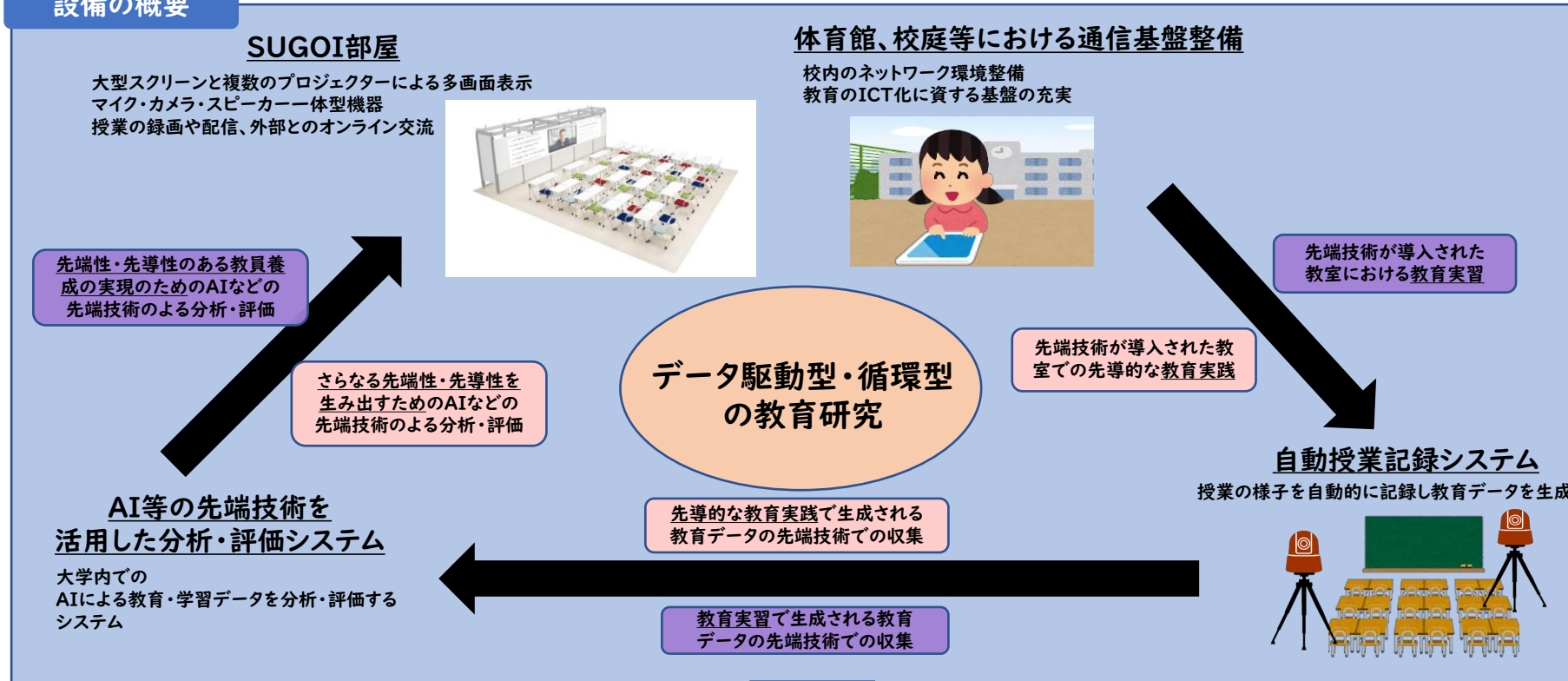


附属で生成されるデータの収集と分析による
データ駆動型研究／教育実習

導入の必要性

令和7年6月6日の経済財政運営と改革の基本方針2025（原案）において、こどもたちの個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現に向け、生成AI活用を含む教育DXの加速が示されるなど、すべての子どもが「質の高く深い学び」を実現できるよう、一人ひとりの理解度や関心に応じた柔軟な学習支援が求められていることから、AIを中心とした先端技術を教育現場に実装し、教職員の業務の効率化・適正化を図りながら、現代的な教育課題に対応していくことが求められている。

設備の概要



効果

- ・本学附属学校の大学との連携研究の拠点としての機能強化、附属学校教員の研究能力向上
- ・現代的な教育課題に対応する実効性の高いソリューションが公立学校等に普及
- ・学校教育の変革に対応した教員養成高度化の推進

次世代の教育界を牽引できる資質・能力を備えた教育者の確保に寄与

戦略的実践研究の推進のための大学内での組織化
と
全附属での実践研究の推進

「未来の学校みんなで創ろう。PROJECT」の大学内附属への展開
大学内にコーディネート機能の組織を設置

